

『新しい痛み止め』

文／国保多古中央病院 内科 宇都宮隆法

人間の体には優れた再生力がありますが、例えば心臓や腎臓、関節の軟骨等の一部の臓器は再生力に乏しい構造です。研究調査により、採集生活をしてきた縄文時代では15歳まで生き延びた人間の平均寿命は30歳前後とされ、安定して食糧が得られる農耕が始まってからもその重労働のために、平均寿命が大きく延びたわけではないことが分かっています。

若くして亡くなる方がほとんどだった時代には心臓病や腎臓病は少なかったでしょうが、農作業は関節をすり減らし、体に大きな負担を強いる労働でした。その証として古代の墳墓からは重労働で骨格が変形してしまった若い人骨が数多く発掘されています。関節は消耗品なのです。

多古町では農業で身を立ってきた方が多く、長年の苦勞は日焼けとして、膝や腰の痛みという症状となって現れています。膝や腰の痛みに対しては、温泉に入ったり、鍼灸やマッサージを受けたりして痛みを和らげようと試みたり、病院にかかって痛み止めなどの内服薬と湿布などの外用薬を処方されたりします。この数年で、新しい成分が使われている痛み止めが立て続けに発売されました。新しい痛み止めでも痛み



痛みを我慢しても、誰も褒めてくれないよ。そろそろ薬を使ったほうが、いいかもしれないね。



【病院便り】

MR（麻疹・風疹混合）ワクチンの入荷は未定ですが、風疹ワクチンが入荷できるようにになりました。午前の内科外来で受け付けております。詳しくは当院へお問い合わせください。

(76-2011)

多古高校生が作った野菜がホテルのメニューに登場!!

包括協定に基づいた活動の一環として、JAF会員優待ホテルであるオークラ千葉ホテルの一流シェフが、多古高校生産流通課の生徒たちの丹精込めて育てた野菜を使って「多古米とお野菜三昧弁当」を提供します。ぜひご賞味ください。

平日ランチタイム 1日15食限定
11月1日(金)～11月29日(金) 期間限定



食の安全や地産地消につながる取り組みに参加できることはいい経験になります。また、私たちが大切に作った食材が素晴らしいお弁当になり、大変うれしく思います。シェフも絶賛の多古米と季節の野菜をぜひ食べてみてください。

※JAF会員は、会員証提示でコーヒー1杯サービス

問合せ ●オークラ千葉ホテル レストランセブンシーズ
☎043-248-1128

積和不動産(株) 多古台プロジェクト全83区画

マストシティ多古町 アトリエヒルズ 始動。

官民協働の賑わいのあるまちづくりに向けて、積和不動産は「多古台プロジェクト」コンセプト説明会を、11月24日(日)に開発予定地(多古台)において開催します。当日は本プロジェクトの造成計画をはじめ、街並み計画、ランドスケープ、今後の計画予定等を積和不動産スタッフ、造成・街並企画・デザイン各担当スタッフがご案内します。11月23日(土)は、いきいきフェスタ駐車場としてご利用いただけますので、分譲地に関するご質問がありましたら、お立ち寄りの際に現地スタッフまでお尋ねください。

また、公式HPを11月下旬に公開予定ですので、今後の詳細につきましてはHPにて随時ご案内させていただきます。

(記事に関する問い合わせ先：積和不動産株式会社 マスト分譲営業部 ☎0120-60-9299 定休日：火・水・祝 担当：宮本)

町長日誌

(9月1日～30日)

- 2日 千葉県町村会政務調査会事業委員会(千葉市)
- 4日 交通安全対策協議会
- 10日～20日 町議会9月定例会
- 13日 文教産業建設常任委員会
空港対策特別委員会協議会
- 14日 多古中学校体育祭
九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練(銚子市)
- 15日 十余三区敬老会
- 17日 総務厚生常任委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 19日 千葉米改良協会臨時総代会(千葉市)
- 21日 中村小学校運動会
常磐地区敬老会
- 24日 千葉県知事表敬訪問(千葉市)
- 25日 中央保育所運動会
- 26日 千葉県LPガス協会非常用LPガス発電機寄贈式
- 27日 多古第一小学生と町長とのお話し会
- 28日 常磐小学校運動会
- 29日～10月1日 町民ふれあい号の旅(北九州)



9月24日 多古米輸出開始報告 知事表敬訪問

多古町内の昔の写真を募集します

町では町村合併60周年を記念して、町勢要覧を現在作成しています。多古町の歴史、生活、人々の営みの記録を今の世代に伝え、後世に引き継ぐため、要覧に掲載する昔の写真を探しています。みなさんのご協力をお願いいたします。



募集写真

明治・大正・昭和初期～40年代ごろの町並み、建造物、行事、自然風景、記念に撮影した写真など
上記はあくまで一例です。幅広い年代・ジャンルの写真を募集します。

お問合せ ●総務課広報係 ☎76-2611

提供方法

プリント写真(インクジェットプリンタ不可)もしくはデジタルデータ(JPG)を総務課広報係へお持ちください。

※詳しくは広報たこ10月号をご覧ください。



私の一冊 『はらぺこあおむし』

今年の夏、物語の本を読み聞かせているキッズサークルで「はらぺこあおむし」の話を読んだ。大きな絵本であおむしの人形を使いながらやったことに娘が興味を持つようになったのがきっかけでした。



本植人：麻生京子さん(白貝) 桃香ちゃん

見たことを実際に自分でもやりたくて、通常の絵本のサイズに合うあおむしの小さなぬいぐるみを作り、夢中になって遊び、何度も読むほどのお気に入りになりました。偶然にも家の庭にあるキンカンの木にあおむしの卵を見つけたので、娘と一緒に毎日観察していると絵本と同じく、卵から幼虫へ、そしてどんどん大きくなって、やがて大きな蝶になって飛び立っていくところの過程を見ることができました。この絵本に興味を

持ったことでも貴重な経験ができました。気に入ると同じ作者の作品を全部読みたがる娘と一緒にエリック・カール作の本を借りて読んでみると、彼の作品は、指や筆で色をつけた色紙を切り抜き、貼りつけていくコラージュという技法で作られていると知り、大人の私も興味深く楽しむことができました。定番の絵本ですが、この虫シリーズは希望・働く・愛・仲間をテーマにした4部作になっていて、それぞれ作品には触って楽しんだり、光ったり、音が鳴ったりする仕掛けがされていて、親子一緒に学びながら楽しめる絵本だと思います。

33年目



『はらぺこ あおむし』
作：エリック・カール
訳：もり ひさし
発行：偕成社

〈あらすじ〉
日曜日の朝に卵からかえったあおむしが、いろいろなものを食べて大きくなり、さなぎへと変化し、きれいな蝶に変身する成長の物語。絵本中には曜日や数がかぞえられるなどの工夫がされている。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【11月の休館日】毎週月曜日・祝日